



神奈川の風



平成28年6月10日号

校長 吉江 明洋

< 第1回定期テスト なぜ勉強は必要なのか >

1年生の自然教室、2年生の東京遠足、3年生の修学旅行も無事に終わり来週6月15日(水)～17日(金)までが本年度の第1回目となる定期テストです。

特に1年生は初めての定期テストですが、心構えはできていますか。
2・3年生は大丈夫だと思いますが、もう一度取り組みを考えましょう。



さて、「人はなぜ勉強するのか。勉強とは何か」は、誰もが考える永遠のテーマですが、私は、自分が取り組んできた剣道の教えにしたがってこう考えます。

剣道の実力ある者同士の試合では0.2秒で技が決まると言われています。大人で5分、中学生で3分という短い試合時間内の、場面、場面により、相手の動きから攻撃や防御を瞬間に判断して、その時に一番良い方法(善処)で技を出さなければなりません。その0.2秒の「瞬間の善処」の積み重ねが剣道であると言われています。



試合中は一時も気を抜いている暇はありません。無意識に反応できるように、日々様々な状況を想定しての基本練習や、苦しい稽古を繰り返します。楽な練習では素早い判断力と行動が身につかず、強くはなれません。

この考えは、どのスポーツでもそうですし、人生においても瞬間の善処の積み重ねによって成り立っています。その時その場面で一番良い方法を瞬時に判断して行動できているかが、その人の人生を大きく左右します。

もちろん判断のすべてがうまくいくとは限りません。むしろ、うまくいかないことの方が多いと思います。しかし失敗を恐れることはありません。失敗をすることにより自分の今の課題が見えてきますし、それを克服しようとする気力を持つことで、豊かな人生が再び開かれていきます。

そう考えると義務教育とは、これからの君達の人生において、瞬間の善処をするための基準となる考えや、行動の基本を学習している。人生という試合に臨むための基本練習や稽古を重ねている時期と言えます。それが今の君達の「勉強する」ということだと考えます。

はたして君達は、勉強することの意味を、どう考えているでしょうか。中学生としての学習や行動の「正しい判断基準」を身に付けつつあるのでしょうか。今の場面で、一番正しい判断や方法で行動できているでしょうか。

誰かが何かをしてくれるのを待っているだけであったり、楽な道を選んだりしているだけでは何も身につかず、自己の向上はあり得ません。残念ながら、「正しい判断」と「苦しさ」は必ずセットになっていることが多いのです。苦しきから逃れるために「勉強したって意味ないじゃん」などと、くだらない言い訳を口にしないように。

自分の可能性を大きく広げ、夢の実現や、豊かで幸せな人生とするためにも、苦しさに負けずに、今、学習すべきこと、今、身につけるべきことをしっかり学んでほしいと願っています。自分の弱い気持ちに流されず、まずは15日からの定期テストに全力で集中です！！

